

國學院大學學術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001007

彙報

平成二十四年度（所屬・役職は当時、敬称略）

▽研究開発推進センター会議

- ・第三回、平成二十五年一月十五日（火）十五時五十分～十六時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第四回、平成二十五年三月十二日（火）十四時～十五時十五分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究会

- ・第七回、阪本是丸（神道文化学部教授、研究開発推進センター長）「靖國神社宮司鈴木孝雄の靖國神社祭神論をめぐって―大江志乃夫『靖國神社』の記述の仕方メモランダム―」、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）「神話学の近代」、平成二十五年二月十九日（水）十五時～十七時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮の研究）

〈出張〉

- ・「北海道神宮に関する史料調査」、菅浩二（研究開発推進機構准教授）、宮本誉士（研究開発推進機構助教）、渡邊卓（研究開発

推進機構客員研究員）、上西亘（伝統文化リサーチセンター資料館嘱託学芸員）、平成二十五年二月二十五日（月）～二十七日（水）、北海道札幌市（北海道神宮）

平成二十五年年度（所屬・役職は当時、敬称略）

▽研究開発推進センター会議

- ・第一回、平成二十五年四月六日（土）十五時～十六時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、平成二十五年八月二十六日（月）十五時～十五時五十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究会

- ・第一回、渡邊卓（研究開発推進機構助教）「昭和前期における札幌神社の刊行物とその活動意義」、平成二十五年五月三十日（木）十四時三十分～十六時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

- ・第二回、上西亘（研究開発推進機構助教）「開拓神社創建過程と札幌神社」執筆に向けて」、平成二十五年六月十三日（木）十四時三十分～十六時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第三回、塚田穂高（研究開発推進機構助教）「大正・昭和期日

本の霊術・療術と国家―靈氣・手のひら療治・靈子術の場合―、平成二十五年七月十八日(木) 十四時三十分～十六時四十五分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第四回、針本正行(文学部教授、研究開発推進センター長代行)「源氏物語の祖霊信仰―「物の気」顕現の背景―」、平成二十五年十月三日(木) 十四時三十分～十六時十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第五回、坂井久能(研究開発推進機構共同研究員)「海軍墓地の維持管理・祭祀と靖國神社」、平成二十五年十月二十四日(木) 十四時三十分～十六時三十分、プロジェクトルーム二

▽国際学術交流事業(國學院大學院友神職会奨学資金)

〈アメリカ合衆国・ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所客員研究員派遣〉

・大東敬明(研究開発推進機構助教、平成二十五年四月)

▽二十一世紀研究教育計画委員会事業「地域・浜谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈平成二十五年共存学研究会〉

・第一回、赤澤加奈子(研究開発推進機構客員研究員)「近代・温泉地における源泉開発の増加による温泉利用形態の構造変化

に関する検討―静岡県伊東温泉における旅館・別荘分布の変化過程を通して―」、平成二十五年五月九日(木) 十二時三十分～十四時三十分、A M C棟五階会議室〇六

・第二回、黒崎浩行(神道文化学部准教授)「『震災復興と宗教』について」、平成二十五年五月二十三日(木) 十二時三十分～十四時三十分、A M C棟五階会議室〇六

・第三回、菅浩二(神道文化学部准教授)「共存のための謬説…日韓同祖論について」、平成二十五年六月六日(木) 十二時三十分～十四時三十分、A M C棟五階会議室〇六

・第四回、菊田真司(法学部教授)「価値多元社会における共存の諸条件」、平成二十五年六月二十日(木) 十二時三十分～十四時三十分、A M C棟五階会議室〇六

・第五回、磯村早苗(法学部教授)「グローバル市民社会の時代と共存の条件」、平成二十五年六月二十七日(木) 十二時三十分～十四時三十分、A M C棟五階会議室〇六

〈公開研究会〉

・第一回、久保田裕道(儀礼文化学会事務局長)「東日本大震災被災地における無形文化遺産の復興と情報ネットワーク」、平成二十五年七月十一日(木) 十三時～十五時、A M C棟五階会議室〇六

・第二回、濱田陽(帝京大学准教授)「共有宗教文化―共存のインターネットフェース―」、コメンテーター＝木村武史(筑波大学准

教授)、司会〓古沢広祐(経済学部教授)、平成二十五年十月十八日(金)十六時〜十八時、AMC棟五階会議室〇六(出張)

・「岩手県における東日本大震災の復興と支援活動に関する現地調査」、古沢広祐(経済学部教授)、黒崎浩行(神道文化学部准教授)、平成二十五年八月六日(火)〜八日(木)、岩手県一関市・陸前高田市

・「石川県における大学による学術情報と地域貢献に関する現地調査」、古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)、高久舞(研究開発推進機構ポスドク研究員)、筒井裕(研究開発推進機構ポスドク研究員)、平成二十五年九月十八日(水)〜二十日(金)、石川県金沢市・珠洲市・輪島市

・「宮城県石巻市における東日本大震災被災地の復興に関する現地調査」、古沢広祐(経済学部教授)、黒崎浩行(神道文化学部准教授)、筒井裕(研究開発推進機構ポスドク研究員)、平成二十五年十一月二日(土)〜四日(月)、宮城県石巻市

・「伝統的な集落における信仰生活に関する現地調査」、古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、加藤季夫(人間開発学部教授)、横山實(法学部教授)、ノルマン・ヘイヴンズ(神道文化学部准教授)、赤澤加奈子(研究開発推進機構客員研究員)、筒井裕(研究開発推進機構ポスドク研究員)、平成

二十五年十二月十三日(金)〜十五日(日)、愛知県北設楽郡東栄町

・「長崎県における宗教の共存と大学の研究・学術情報による地域貢献に関する現地調査」、古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、菅井益郎(経済学部教授)、筒井裕(研究開発推進機構ポスドク研究員)、平成二十六年一月十五日(水)〜十七日(金)(菅井)、一月十五日(水)〜十八日(土)(古沢・茂木・筒井)、長崎県長崎市・平戸市

・「岩手県における東日本大震災の復興と支援活動に関する現地調査」、古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、ノルマン・ヘイヴンズ(神道文化学部准教授)、筒井裕(研究開発推進機構ポスドク研究員)、平成二十六年二月八日(土)〜十日(月)、岩手県大槌町

「渋谷学」グループ

〈平成二十五年年度渋谷学研究会〉

・第一回渋谷学研究会、テーマ「都市の「カタリ」と「ハナシ」、平成二十六年一月十一日(土)、午後十三時〜午後十六時三〇分、講師〓飯倉義之(文学部助教)、「渋谷を巡るハナシと記憶」生さられる渋谷のために―、内藤浩誉(立教女学院短期大学非常勤講師)「中野を巡るハナシと記憶―事物が語る歴史―」、メンテーター〓野村敬子(國學院大學栃木短期大學兼任講師)、

米屋陽一（文学部兼任講師）、コーディネーター＝小川直之（文学部教授）

〈総合講座「渋谷学」〉各回十時三十分～十二時、一一〇五教室

・第一回、林和生（文学部教授）「台地と川がつくった魅力あふれるにぎわいの街・渋谷―台地（丘）と河谷と坂道の町―」、平成二十五年九月二十八日（水）

・第二回、西樹（シブヤ経済新聞編集長）「シブヤ経済新聞と渋谷」、平成二十五年十月二日（水）

・第三回、吉岡孝（文学部准教授）「藩邸と名所」、平成二十五年十月九日（水）

・第四回、吉岡孝（文学部准教授）「谷間の村と町の風景」、平成二十五年十月二十三日（水）

・第五回、上山和雄（文学部教授）「歴史の中の渋谷」、平成二十五年十月三十日（水）

・第六回、倉石忠彦（文学部名誉教授）「渋谷の民俗学―賑わいを捉える―」、平成二十五年十一月六日（水）

・第七回、高久舞（研究開発推進機構ポスドク研究員）「渋谷の祝祭空間」、平成二十五年十一月十三日（水）

・第八回、藤田大誠（人間開発学部准教授）「〈表参道〉の誕生―明治神宮創建の歴史をひもとく―」、平成二十五年十一月二十日（水）

・第九回、遠藤潤（神道文化学部准教授）「近世渋谷の仏教」、平

成二十五年十一月二十七日（水）

・第十回、黒崎浩行（神道文化学部准教授）「渋谷の住宅地と神社祭礼」、平成二十五年十二月四日（水）

・第十一回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー」統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済的な特徴と課題」、平成二十五年十二月十一日（水）

・第十二回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー」統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済的な特徴と課題」、平成二十五年十二月十八日（水）

・第十三回、大友教史（東京急行電鉄株都市開発事業本部渋谷開発事業部事業計画部課長）「今後の渋谷の再開発」、平成二十六年一月八日（水）

▽外部研究機関との共催研究事業

〈國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター関連研究会〉
 ・第十五回神道文化会主催公開講演会「お伊勢さまと神道文化」、平成二十五年六月十五日（土）十三時～十六時、國學院大學一二〇周年二号館一階二一〇一教室、主催者挨拶＝松山文彦（神道文化会専務理事）、講演＝鎌田道隆（奈良大学名誉教授）「江戸のお伊勢まいり」、講演二＝伊豆野誠（『皇室』編集長）「遷宮のつば」、主催＝財団法人神道文化会

・公開シンポジウム「神社の造営と祭祀―伊勢と出雲―」、平成

二十五年七月六日(土) 十三時三十分～十七時、國學院大學A MC棟常磐松ホール、基調講演 櫻井治男(皇學館大学文学部教授)「祭りの場」を調えることの意味―祭祀としての造宮を考える―」、発題一 中西正幸(神道文化学部教授)「伊勢の御遷宮」、発題二 西岡和彦(神道文化学部准教授)「出雲大社の大遷宮―寛文度の造宮と祭祀」、コメンテーター 加瀬直弥(神道文化学部准教授)、錦田剛志(高根県神社庁参事・万九千神社宮司)、司会 茂木貞純(神道文化学部教授)、主催 明治聖徳記念学会

▽國學院大學院友神職会總會研究報告会

・星野靖二(研究開発推進機構准教授)「北米における日本宗教研究について」、平成二十五年十月二十二日(火)、若木タワー地下一階会議室〇二

▽研究開発推進センター研究事業(北海道神宮の研究)

〈出張〉

・「北海道神宮に関する史料調査」、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)、渡邊卓(研究開発推進機構助教)、上西亘(研究開発推進機構助教)、平成二十五年七月十三日(土)～十五日(月)、北海道札幌市(北海道立文書館)・江別市(北海道立図書館)・札幌市(北海道神宮)

・「北海道神宮に関する史料調査」、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)、渡邊卓(研究開発推進機構助教)、上西亘(研究開発推進機構助教)、平成二十五年九月十二日(木)～十四日(土)、北海道札幌市(北海道神宮)

・「北海道神宮に関する史料調査」、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)、渡邊卓(研究開発推進機構助教)、平成二十五年十一月二十四日(日)～二十六日(火)、北海道札幌市(北海道神宮)

▽成果公開

〈刊行物〉

・「國學院大學研究開発推進センター研究紀要」第八号、平成二十六年三月
 ・「渋谷学ブックレット4 結節点としての渋谷―江戸から東京へ―」、平成二十六年二月
 ・「都市民俗研究」第十九号、平成二十六年二月
 ・「共存学2…災害後の人と文化、ゆらぐ世界」、弘文堂、平成二十六年二月